

水稲用 初・中期一発処理除草剤

ヤブサメ[®]

1キロ粒剤・(豆つぶ[®] 250・ジャンボ

狙った草は



ミズアオイ

外さない!



ルビエ



オモダカ



「フェノキサスルホン」配合!

- ルビエに対し、高い効果と長期残効を示します
- 一年生広葉雑草の後発生を抑えます

自然に学び 自然を守る



©:クミアイ化学工業(株)登録商標

ヤブサメ[®]

●有効成分 ビラクロニル…1.5% (1キロ粒剤)、6.0% (豆つぶ250・ジャンボ)
 ビリミスルファン…0.50% (1キロ粒剤)、2.0% (豆つぶ250・ジャンボ)
 フェノキサスルホン…1.5% (1キロ粒剤)、6.0% (豆つぶ250・ジャンボ)

●人畜毒性 普通物(毒劇物に該当しないものを指すという通称)

特長

- 新規成分「フェノキサスルホン」を配合した初・中期一発処理除草剤です。
- フェノキサスルホンによりノビエに対する効果が高く、長期間発生を抑えます。
- ミズアオイやコナギなどの広葉雑草に対する効果が高く、長期間発生を抑えます。
- SU剤抵抗性雑草など幅広い草種に対して優れた効果を示します。
- 10アール当たり250gと軽量で、拡散性に優れた製剤です(豆つぶ250・ジャンボ)。

適用雑草及び使用方法

2019年9月現在の登録内容

1キロ粒剤	作物名	適用雑草名	使用時期	10アール 当り使用量	本剤の 使用回数	使用方法
農林水産省登録 第2001018号	移植水稲	一年生雑草及び多年生広葉雑草、 アオミドロ・藻類による表層はく離	移植直後～ノビエ3葉期 但し、移植後30日まで	1kg	1回※	湛水散布
	直播水稲	一年生雑草及び マツバ、ホタルイ、ウリカワ、 ミズガヤツリ、ヒルムシロ、 セリ	稲1葉期～ノビエ3葉期 但し、収穫90日前まで			田植同時 散布機で施用

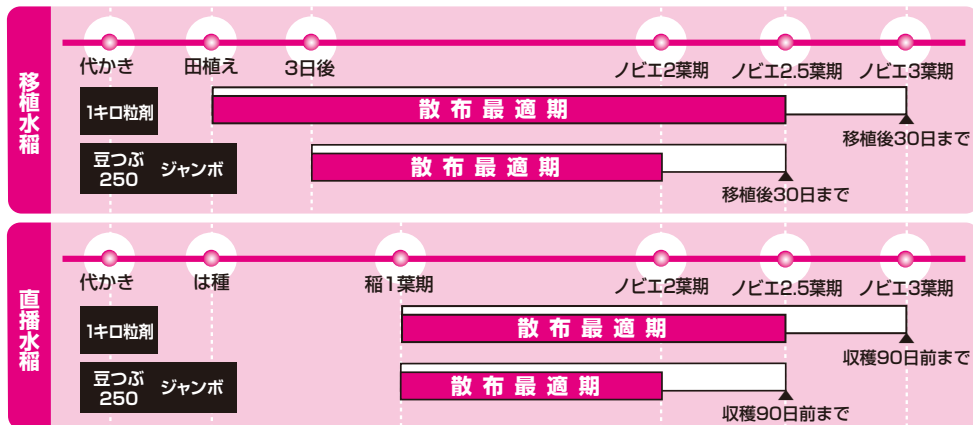
豆つぶ250	作物名	適用雑草名	使用時期	10アール 当り使用量	本剤の 使用回数	使用方法
農林水産省登録 第2001019号	移植水稲	一年生雑草及び多年生広葉雑草、 アオミドロ・藻類による表層はく離	移植後3日～ ノビエ2.5葉期 但し、移植後 30日まで	250g	1回※	湛水散布、 湛水周縁散布 又は無人航空機 による散布
	直播水稲	一年生雑草及び マツバ、ホタルイ、ウリカワ、 ミズガヤツリ、ヒルムシロ、 アオミドロ・藻類による表層はく離	稲1葉期～ノビエ2.5葉期 但し、収穫90日前まで			湛水散布又は 無人航空機による 散布

ジャンボ	作物名	適用雑草名	使用時期	10アール 当り使用量	本剤の 使用回数	使用方法
農林水産省登録 第2001019号	移植水稲	一年生雑草及び多年生広葉雑草、 アオミドロ・藻類による表層はく離	移植後3日～ ノビエ2.5葉期 但し、 移植後30日まで	小包装 (パック) 10個 (250g)	1回※	水田に 小包装 (パック)の まま投げ 入れる
	直播水稲	一年生雑草及び マツバ、ホタルイ、ウリカワ、 ミズガヤツリ、ヒルムシロ、 アオミドロ・藻類による表層はく離	稲1葉期～ノビエ2.5葉期 但し、収穫90日前まで			

※各有効成分を含む農薬の総使用回数:ビラクロニル2回以内、ビリミスルファン2回以内、フェノキサスルホン2回以内

上手な使い方・標準的な使用時期

(雑草生育初期での使用が、より効果的です。)



使用上の注意

- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエ3葉期(豆つぶ250・ジャンボは2.5葉期)までに、時期を失しないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布してください。ヘラオモダカ、ウリカワは2葉期まで、ホタルイは3葉期まで、ミズガヤツリは4葉期(豆つぶ250・ジャンボは3葉期)まで、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生始期まで、シズイは草丈3cmまで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生始期まで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生前から散布適期です。
- オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、シズイは発生期間が長く、遅い発生のものまでは十分な効果を示さないので、必要に応じて有効な後処理剤との組合せで使用してください。
- いぐさ栽培予定田では使用しないでください。
- 苗の植付けが均一となるように、代かき及び補作作業はていねいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行ってください。
- 散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態のまま田面に均一に散布し、散布後3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください(1キロ粒剤)。
- 湛水散布または湛水周縁散布の際は、やや深めの湛水状態(水深5～6cm)にして水の出入りを止めてください(豆つぶ250)。
- 散布の際は、やや深めの湛水状態(水深5～6cm)にして水の出入りを止めてください(ジャンボ)。
- 湛水散布の場合は田面に散布し、また、湛水周縁散布の場合は、水田周縁部に沿って帯状に散布し、散布後3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください(豆つぶ250)。
- 散布後少なくとも3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください(ジャンボ)。
- 藻類・表層はく離などの水面浮遊物が多い場合は、拡散が不十分なおそれがあるため周縁散布をさせ、本田内で水田全面に散布してください(豆つぶ250)。
- 本剤は小包装(パック)のまま10アール当たり10個の割合で水田に均等に投げ入れてください(ジャンボ)。
- 藻類・表層はく離、浮き草などの水面浮遊物が多い場合は、本剤の拡散が不十分になり、部分的な薬害や効果不足を生じるおそれがあるため使用はさけてください(ジャンボ)。
- パックに使用しているフィルムは水溶性なので、濡れた手で作業したり、降雨で破散することがないように注意してください(ジャンボ)。
- 以下のような条件下では薬害が発生するおそれがあるため使用をさけてください。
 - 砂質土壌の水田及び漏水田(減水深が2cm/日以上)
 - 軟弱苗を移植した水田
 - 極端な浅植えの水田及び浮き苗の多い水田
 - 種穴の戻りの悪い水田
- 直播水稲に使用する場合、以下の点に注意してください。
 - 発芽直後の稲に対して薬害を生じるおそれがあるため、適切な覆土を行い、稲の1葉期以降に散布してください(1キロ粒剤)。
 - 除草効果の低下と生育抑制の薬害が発生するおそれがあるため、入水後水持ちの安定した後に散布してください(豆つぶ250・ジャンボ)。
 - 稲の根が露出した条件下では薬害を生じるおそれがあるため使用をさけてください。
 - 除草効果の低下と生育抑制の薬害が発生するおそれがあるため、水持ちの安定した後に散布してください。
- 梅雨時期等、散布後に多量の降雨が予想される場合は、除草効果が低下するおそれがあるため使用をさけてください。
- 散布後の数日に著しい高温が続く場合、初期生育が抑制されることがありますが、一過性のもので次第に回復し、その後の生育に対する影響は認められていません。
- 吸湿性があるので、散布時に降雨の場合には濡れないように注意して散布してください。濡れた手で扱わないでください。また、開封後は早めにご使用してください(豆つぶ250)。
- 本剤を散布した水田の田面水を他の作物の湛水に使用しないでください。
- 本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるため、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分に注意してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にしてください。
- 特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。
- 無人航空機で散布する際は以下に注意してください(豆つぶ250)。
 - 散布は機種ごとの使用基準に従って実施してください。
 - 専用の粒剤散布装置によって湛水散布してください。
 - 事前に薬剤の物理性に合わせて粒剤散布装置の開度を調整してください。
 - 散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラの回転数を調整し、圃場の端から5m以上離れて圃場内に散布してください。
 - 水源地、飲料水などに飛散、流入しないよう十分注意してください。
- 虫に対して影響があるので、周辺の農薬にはかからないようにしてください。

安全使用上の注意

- 眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の処置を受けてください。
- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす(1キロ粒剤)。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長スボン長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手洗、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください(1キロ粒剤・豆つぶ250)。
- 本剤は水溶性フィルムで小包装化されているため、濡れた手で触らないでください(ジャンボ)。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください(1キロ粒剤・豆つぶ250)。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 水産動物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないでください(1キロ粒剤)。
- 水産動物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 無人航空機による散布で使用する場合は、河川、養殖池等に飛散しないよう特に注意してください(豆つぶ250)。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動物に影響を与えないよう適切に処理してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●防除日誌を記帳しましょう。

本資料は2019年9月現在の知見に基づいて作成しております。

自然に学び 自然を守る

1722(19-10)